

## 目 次

### I. 総括研究報告

早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者QOLを向上する全国研究  
代表研究者 横手 幸太郎

(資料1) 第65回日本糖尿病学会学術集会 プログラム

(資料2) 第64回日本老年医学会学術集会 プログラム

(資料3) 第95回日本生化学会 プログラム

(資料4) 脳心血管抗加齢研究会第19回学術大会 プログラム

(資料5) Lifetime extension and the recent cause of death in Werner syndrome: a retrospective study from 2011 to 2020.

(資料6) Case of Werner syndrome with significant improvement of refractory skin ulcer despite fibroblast cellular senescence.

(資料7) Optical coherence tomography findings in three patients with Werner syndrome.

(資料8) RNaseH2A downregulation drives inflammatory gene expression via genomic DNA fragmentation in senescent and cancer cells.

(資料9) Targeted long-read sequencing identifies missing pathogenic variants in unsolved Werner syndrome cases.

### II. 分担研究報告

1. ウェルナー症候群：診療の質および患者QOL向上を向上する全国研究

分担研究者 竹本 稔  
分担研究者 中神 啓徳  
分担研究者 窪田 吉孝  
分担研究者 茂木 精一郎  
分担研究者 谷口 俊文  
分担研究者 渡邊 一久  
分担研究者 谷口 晃  
分担研究者 忍足 俊幸

2. ハッチンソン・ギルフォード症候群の新規治療薬ロナファルニブの国内承認に向けた取り組みと全国一次調査（再調査）

分担研究者 井原 健二  
分担研究者 松尾 宗明  
分担研究者 小崎 里華

(資料1) 2023分担報告書一次調査集計（表1，表2）

3. ロスモンド・トムソン症候群診療ガイドラインの作成

分担研究者 金子 英雄  
研究協力者 大西 秀典

(資料1) Minds 準拠の診断基準・診療ガイドライン

4. 研究成果の刊行に関する一覧表